



2022年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年6月10日

上場会社名 ブレインズテクノロジー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4075 URL <https://www.brains-tech.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 佐和子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 河田 哲 TEL 03 (6455) 7023
 四半期報告書提出予定日 2022年6月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年7月期第3四半期の業績（2021年8月1日～2022年4月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年7月期第3四半期	685	6.1	127	△4.7	127	△2.6	90	4.1
2021年7月期第3四半期	646	—	134	—	130	—	86	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年7月期第3四半期	16.82	14.87
2021年7月期第3四半期	18.27	—

(注) 1. 2020年7月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2021年7月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当社は、2021年3月12日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っておりますが、2021年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 2021年7月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年7月期第3四半期	1,693	1,297	76.6
2021年7月期	1,640	1,206	73.5

(参考) 自己資本 2022年7月期第3四半期 1,297百万円 2021年7月期 1,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年7月期	—	0.00	—	—	—
2022年7月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年7月期の業績予想（2021年8月1日～2022年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	931	9.0	147	△6.7	146	2.9	123	12.2	23.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年7月期3Q	5,374,100株	2021年7月期	5,370,000株
② 期末自己株式数	2022年7月期3Q	－株	2021年7月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年7月期3Q	5,370,911株	2021年7月期3Q	4,750,000株

（注）当社は、2021年3月12日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2021年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計方針の変更)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間において、当社はImpulse、Neuron ESともに展示会への出展による新たな顧客創出や、各製品の機能強化に努めて参りました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は685,709千円（前年同期比6.1%増）、売上総利益は504,757千円（前年同期比2.1%減）、営業利益は127,901千円（前年同期比4.7%減）、経常利益は127,482千円（前年同期比2.6%減）、四半期純利益は90,318千円（前年同期比4.1%増）となりました。事業全体としての高い成長を維持するために、今後も積極的なサービス開発及び人員強化を引き続き進めて参ります。なお、当社はエンタープライズAIソフトウェア事業の単一セグメントであるため、セグメント別の経営成績に関する記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における総資産は1,693,254千円となり、前事業年度末に比べ53,044千円増加いたしました。流動資産は1,461,549千円(前事業年度末比45,570千円減少)となりました。主な減少要因は、現金及び預金が25,038千円減少したこと等によるものであります。また、固定資産は231,704千円(前事業年度末比98,615千円増加)となりました。主な増加要因は、ソフトウェア(ソフトウェア仮勘定含む)の増加82,946千円等によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債は395,425千円となり、前事業年度末に比べ38,663千円減少いたしました。主な減少要因は、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)の減少30,998千円、未払消費税等の減少13,685千円、未払事業税等の減少11,244千円、未払金の減少7,623千円等によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,297,828千円となり、前事業年度末に比べ91,708千円増加いたしました。主な増加要因は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加90,318千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年7月期の業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益はともに前回(2021年9月10日)公表値から減少し、売上高は931百万円、営業利益は147百万円、経常利益は146百万円、当期純利益は123百万円となる見通しであります。なお、当資料に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年7月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,404,874	1,379,836
受取手形及び売掛金	94,175	69,378
その他	8,070	12,334
流動資産合計	1,507,120	1,461,549
固定資産		
有形固定資産	3,771	8,907
無形固定資産		
ソフトウェア	93,419	180,902
ソフトウェア仮勘定	14,090	9,554
無形固定資産合計	107,510	190,457
投資その他の資産	21,807	32,340
固定資産合計	133,089	231,704
資産合計	1,640,209	1,693,254
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,240	15,577
1年内返済予定の長期借入金	43,886	66,620
未払法人税等	41,013	37,013
賞与引当金	—	20,076
前受収益	140,820	—
契約負債	—	141,856
その他	83,288	61,008
流動負債合計	331,249	342,153
固定負債		
長期借入金	77,316	23,584
長期前受収益	25,523	—
長期契約負債	—	29,688
固定負債合計	102,839	53,272
負債合計	434,088	395,425
純資産の部		
株主資本		
資本金	580,156	580,851
資本剰余金	545,156	545,851
利益剰余金	80,808	171,126
株主資本合計	1,206,120	1,297,828
純資産合計	1,206,120	1,297,828
負債純資産合計	1,640,209	1,693,254

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年8月1日 至2021年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自2021年8月1日 至2022年4月30日)
売上高	646,310	685,709
売上原価	130,588	180,951
売上総利益	515,722	504,757
販売費及び一般管理費	381,572	376,855
営業利益	134,149	127,901
営業外収益		
受取利息	2	8
雑収入	0	1,146
営業外収益合計	2	1,155
営業外費用		
支払利息	3,283	1,575
営業外費用合計	3,283	1,575
経常利益	130,869	127,482
税引前四半期純利益	130,869	127,482
法人税、住民税及び事業税	49,209	47,915
法人税等調整額	△5,137	△10,750
法人税等合計	44,072	37,164
四半期純利益	86,796	90,318

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

当社事業から生じる主な収益を以下の通り認識しております。

①フロー収益

- ・ソフトウェアライセンス販売

ソフトウェアライセンスの販売による収益は、顧客において使用可能となった時点で収益を認識しております。

- ・導入支援作業

顧客の要請に基づくカスタマイズ等の導入支援作業については、顧客との契約における履行義務を充足した時点で収益を認識しております。

②ストック収益

- ・ソフトウェア保守及び利用サービス

役務の提供である製品の保守サービス及びソフトウェア利用サービスの提供による収益は、顧客との契約における履行義務の充足に伴い、一定期間にわたり収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。この結果、当第3四半期累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前事業年度の貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受収益」は、第1四半期会計期間より「流動負債」の「契約負債」に含めて表示し、「固定負債」に表示していた「長期前受収益」は、第1四半期会計期間より「固定負債」の「長期契約負債」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度について新たな表示方法による組み替えは行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間（自 2021年8月1日 至 2022年4月30日）

当社は、エンタープライズAIソフトウェア事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。